

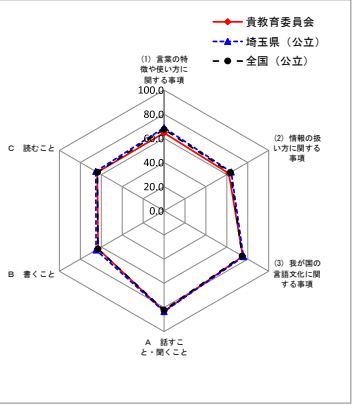
・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象生徒数			三郷市教育委員会	埼玉県（公立）	全国（公立）	
			1,029	53,122	892,738	
分類		区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
		全体		貴教育委員会	埼玉県（公立）	全国（公立）
学習指導 要領の 内容	知識及び 技能	(1) 言葉の特徴や使い方にに関する事項	15	69	71	69.8
		(2) 情報の扱い方にに関する事項	2	64.5	68.8	67.5
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	2	61.9	64.3	63.4
	思考力、 判断力、 表現力等	我が国の言語文化に関する事項	3	75.3	75.9	74.7
		A 話すこと・聞くこと	3	83.1	83.4	82.2
		B 書くこと	2	63.0	65.0	63.2
		C 読むこと	4	63.8	65.2	63.7
評価の観点	知識・技能	7	68.4	70.6	69.4	
	思考・判断・表現	9	70.0	71.2	69.7	
	主体的に学習に取り組む態度	0				
問題形式	選択式	7	72.1	73.9	73.1	
	短答式	4	64.3	66.7	65.6	
	記述式	4	69.3	70.2	68.0	

※「学習指導要領の内容」と「評価の観点」については、一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

＜学習指導要領の内容の平均正答率の状況＞



問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の建旨	学習指導要領の内容						評価の観点			問題形式			正答率(%)			無解答率(%)		
			知識及び技能			思考力、判断力、 表現力等			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	貴教育委員会	埼玉県（公立）	全国（公立）	貴教育委員会	埼玉県（公立）	全国（公立）
			(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	(2) 情報の扱い方に関する事項	(3) 我が国の言語文化に関する事項	A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと												
1ー	インタビューの前に準備したメモについて説明したのとして適切なものを選択する	目的や場面に応じて質問する内容を検討することができるかどうかをみる				1ア				○		○			87.4	88.6	87.5	0.0	0.1	0.1
1二	インターネットの記事を読んで気付いた点として適切なものを選択する	意見と根拠など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる		1ア						○		○			62.7	65.5	65.1	0.1	0.1	0.2
1三	相手の話を受けて発した質問について、述べ方の工夫とその意図を説明したのとして適切なものを選択する	話の内容を捉え、知りたい情報に合わせて効果的に質問することができるかどうかをみる				1エ				○		○			78.0	77.7	76.6	0.0	0.2	0.2
1四	インタビューのまとめとしてどのようなことを述べるのか、自分の考えを書く	聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめることができるかどうかをみる				1エ				○			○		83.8	84.0	82.5	9.3	9.6	10.8
2ー	「落胆する」の意味として適切なものを選択する	事象や行為、心情を表す語句について理解しているかどうかをみる	1ウ							○		○			88.8	91.4	91.1	0.0	0.1	0.2
2二	二つの文章に共通する表現の効果を説明したものとして適切なものを選択する	観点を明確にして文章を比較し、表現の効果について考えることができるかどうかをみる					2エ			○		○			59.7	63.4	63.0	0.5	0.4	0.4
2三	それぞれの文章で述べられている「読書の楽しみ」について、内容のまとまりで文章が二つに分かれる箇所を選択し、後半のまとまりに付ける見出しを書く	文章の中心的な部分と付加的な部分について叙述を基に捉え、要旨を把握することができるかどうかをみる				1ア				○		○			74.8	75.5	74.2	0.7	0.3	0.3
2四	自分がこれからどのように本を読んでいきたいかについて、読んだ文章を参考にして、知識や経験に触れながら書く	文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができるかどうかをみる			2エ		2オ		○	○			○		69.9	70.4	67.5	3.0	3.3	3.9
3ー	レポートの下書きの一部について、文の一部を直す意図として適切なものを選択する	読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるかどうかをみる				1エ				○		○			53.3	55.3	54.3	0.4	0.4	0.6
3二	漢字を書く（おし量って）	文脈に即して漢字を正しく書くことができるかどうかをみる	2ウ							○			○		40.1	46.2	43.9	11.6	10.3	10.7
3三	「『判じ絵』とは何か」と見出しを付けた部分について、内容のまとまりで文章が二つに分かれる箇所を選択し、後半のまとまりに付ける見出しを書く	具体と抽象など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる		2ア						○			○		61.1	63.1	61.8	2.0	1.9	2.1
3四	「『判じ絵』の解説の面白さ」と見出しを付けた部分に具体例として示す「判じ絵」を選択し、その解説の仕方を書く	自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができるかどうかをみる				1ウ				○			○		72.7	74.6	72.1	9.4	8.9	10.2
4ー	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す（いひける）	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができるかどうかをみる			1ア					○			○		82.4	82.8	82.5	4.0	3.1	3.6
4二	原文の中の語句に対応する言葉を現代語で書かれた文章から抜き出す（いと）	古典の原文と現代語の文章とを対応させて内容を捉えることができるかどうかをみる			2イ					○					73.6	74.6	74.1	5.2	4.0	4.8
4三	現代語で書かれた「竹取物語」のどこがどのように工夫されているかについて、古典と比較して書く	文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる					1エ			○			○		50.9	51.7	50.0	18.8	18.5	20.7